**第2章　気象**

**概況**

　昭和61年は寒冬、集中豪雨、残暑、暖冬等いろいろな記録と話題を残した。台風は第29号まで発生したが日本への上陸はなかった。７月20～22日にかけて集中豪雨があり北部を中心にかなりの被害が発生したが年間を通じて概ね穏やかな天候であった。

**１月**

　上旬と下旬は冬型の気圧配置が続き、季節風も強く異常乾燥注意報が５日から30日まで続いた。月平均気温は4.2℃で平年より1.4℃も低く月平均気温の低い値第４位となった。月降水量20.5mmは平年の40％（平年よりやや少ない）で上旬の４日間に集中した。日照時間は152.2時間（やや多い）であった。また雪日数８日（5.2日）で、最低気温0℃未満の日数は、10日（5.7日）であった。

**２月**

　引き続き冬型の気圧配置となり、気温は全般に低めに経過し、月平均気温は3.8℃で平年より2.0℃低く（かなり低い）月平均気温の低い値第２位となった。 18日にはこの冬初めての積雪を観測した。雪日数は13日（平年6.5日）、最低気温0℃未満の日数16日（平年5.6日）となった。月降水量は13.5mm （かなり少ない）、日照時間は147.7時間（やや多い）であった。

**３月**

　月初め冬型の気圧配置となったが長続きはせず、その後も寒暖の変動が大きく、23日には山間部を中心に大雪となり森林等に被害がでた。月平均気温は8.3℃ （平年並）、月降水量134.0mm （やや多い）、日照時間は167.5時間（平年並）であった。

**４月**

　天気は周期変化となったが、中旬後半から下旬初めにかけて前線が停滞し曇雨天の日がおおかった。下旬中旬を中心に好天ベースとなったが長続きはしなかった。月平均気温14.8℃、月降水量133.5mmで共に平年並となり日照時間は199.7時間（かなり多い）となった。 26日の日最高気温は25.3℃で本年最初の夏日となった。桜の開花は４月２日で平年より１日遅く、昨年より４日遅い開花となった。

**５月**

　月初め南海上に前線が停滞し、曇雨天の日が多かった。上旬後半から中旬中頃にかけて天気は周期変化となったが19日は寒冷前線の南下で大雨となった。下旬は移動性の高気圧におおわれ晴れる日が多かった。月平均気温18.6℃（やや低い）、月降水量224.5mm （かなり多い）、日照時間は189.2時間（平年並）となった。

**６月**

　上旬中頃一時前線の影響で天気がくずれた他は高気圧におおわれ暑い日が続いたが、中旬中頃から梅雨前線が停滞して６月16日に近畿地方は梅雨入り（平年より８日遅く、昨年より９日遅い）となり、17日は大雨となった。下旬は前線の活動が活発となり雨の日が多く29日は大雨となった。月平均気温は23. 0℃、月降水量210.5mmで共に平年並、日照時間181.5時間（やや多い）となった。

**７月**

　上旬は梅雨前線が南岸に停滞したが、旬末には近畿地方中部まで北上しぐずついた天気となった。中旬は、前半梅雨前線は近畿地方中部に停滞し、後半になってからは、日本海南部まで北上し、停滞したためぐずついた日が多かった。 18日には台風第８号が南海上を北東進したがほとんど影響はなかった。下旬は、はじめ梅雨前線の活動が活発で、北部を中心に大雨となった。その後、梅雨前線の活動は次第に弱まり27日には近畿地方は梅雨明け（平年より10日遅く、昨年より12日遅い）となった。その後は安定した夏型の天気がつづいた。梅雨期間中の大阪の雨量は334.5mmで、平年の8.9％であった。月平均気温は26.4℃（やや低い）、降水量は138.5mm （平年並）、日照時間は162.7時間（平年並）であった。

**８月**

　上旬は、はじめ太平洋高気圧の張り出しが弱く、また気圧の谷の影響で不安定な天気となった。後半は太平洋高気圧におおわれ、比較的安定した夏型となった。中旬は、太平洋高気圧におおわれて夏型の天気となり厳しい残暑となったが、旬後半は一時大気の状態が不安定となり雲が多くにわか雨もあった。下旬前半は前線や気圧の谷の影響でぐずついた日が多かった。とくに21日から22日にかけては前線が南下し雷を伴い大雨となった。後半からは次第に高気圧におおわれ天気も回復した。月平均気温は28.2℃、降水量は102.0mmで共に平年並となった。日照時間は232.5時間（やや多い）となった。

**９月**

　上旬は一時不安定な日もあったが全般に太平洋高気圧におおわれ夏型の気圧配置で、残暑が厳しかった。中旬は、秋雨前線が南海上に停滞して雨の日が多かった。下旬は、旬はじめ、台風16号の弱まった低気圧が日本海に入り一時不安定となったがその後移動性高気圧におおわれ秋晴れがつづいた。月平均気温は24.5℃（平年並）、降水量は76.5mm（やや少ない）、日照時間は180.1時間（やや多い）であった。なお日最高気温35.9℃（9月２日）は９月としては高温第1位となった。

**10月**

　月の前半は１日と1 1日にまとまった雨が降ったがその他は移動性高気圧や高圧帯に覆われ大体晴れの天気となった。中旬中頃から時々冬型の気圧配置となり寒気が南下した。下旬は短い周期変化で寒気の影響を受け曇雨天の日が多くなった。月平均気温は17. 0℃（やや低い）、降水量は79.5mm （平年並）、日照時間は171.1時間（やや多い）となった。

**11月**

　上旬天気は周期変化となったが中旬前半は日本海北部に寒気が南下し曇雨天の日が多く中旬後半から下旬前半にかけて高気圧に覆われ晴れの日が続いた。下旬中頃から再び日本海に寒気が南下し、近畿地方は冬型の気圧配置となり、26日に木枯らし第１号、28日に初霜の季節現象を観測した。月平均気温12.4℃（平年並）、月降水量18.5mm （かなり少ない）、日照時間は132.2時間（やや少ない）となった。又、近畿地方には20日に少雨に関する情報第１号が発表された。

**12月**

　この月天気は周期変化となり、大陸から張り出す移動性の高気圧におおわれ比較的晴れの日が多く、下旬になって時々冬型の気圧配置となったが長続きせずしのぎ易い年の瀬となった。 21日に初氷を観測した。月平均気温は8.9℃（やや高い）、月降水量52.0mm （平年並）、日照時間は139.1時間（平年並）となった。